



事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 平澤泰斗 幹事 小河節郎 会報委員長 矢島 豪 第2956回 例会2022.4.21 No.1616



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 RI テーマ

Serve to change lives

ソング 我等の生業**会長談話** 平澤泰斗会長

日毎の気温の変動が大きく安定しない天気ですが、店頭には蔭の臺から始まりわらび、こごみ、こしあぶら等の山菜が並び始め、それらを食す時に春の訪れを感じます。車を走らせれば、花壇のチューリップが色とりどりに花開き、心を和ませてくれます。



先日と和食のお店で、オーダーしたニシンとわらびの炊き合わせの盛り付けの美しさに見とれ、スマホで写真を撮っていると「この頃は季節感がないですね」と店主から話しかけられました。そう言われて先月行きつけの魚屋さんからサービスで頂いた天然の鰯のお刺身は、寒鰯に負けず劣らず脂の乗った美味しさを思い出しました。店主にその話をすると「今の鰯は安くて美味しい」とのこと、鰯は寒鰯が最高に美味しいとは過去のこととなってしまっているようです。これも温暖化のせいでしょうか。

スーパーにはトマト、胡瓜、茄子や他の野菜が一年中並べられ、食卓を彩ってくれています。それはありがたいのですが、それらを旬に食べて四季の移ろいを感じる事が少なくなって来たのは寂しい限りです。子供たちにイチゴの旬はいつかと聞いてみると「冬」と答える子が多いような気がします。日本は春夏秋冬、四季それぞれに美しさがあり、季節にしか出会えない自然と旬の食べ物があります。それをもっと大切に、残して行かなければいけないのではないでしょうか。

この様なお話が出来るのも日本が平和で豊かな社会であるからであり、ウクライナではロシアの軍事侵攻により建物は破壊され、マリウポリの製鉄所の地下壕では2週間以上太陽を浴びていない人々があり、ポーランドにはおよそ246万人が避難しているそうです。ウクライナの人達に一日も早く平和な日々が来ることを願い、支援をして行きたいと思えます。

幹事報告 別紙をご覧ください

出席報告 会員数 57名 内出席免除 15名
 出席者 34名 事前メールキャップ0名 出席 68.00%

ニコニコボックス

- ・中山一郎 サンギート君から、コロナ禍で動けない時期があったが、ようやく先生になれたと連絡がありました。
- ・藤澤秀敬 R財団への寄付をこれからもよろしくお願ひします。
- ・荒木康雄 2022-23年度「RI 会長テーマ」等報告させていただきます。
- ・唐木 拓 ご迷惑をおかけしないようがんばりますのでよろしくお願ひします。
- ・ゴルフ部

第62期ロータリー財団寄付認証者発表

MPHF (6回) 小坂栄一 (4回) 清水紀光
 (5回) 宮下金俊 (2回) 唐木一平
 (5回) 下枝正一 (2回) 岩附 宏
 (5回) 竹腰哲夫

**地区研修・協議会報告**

○会長部会 荒木康雄会長エレクト

2022-2023 年度 RI 会長方針について
 ジュニア・ジョーンズ会長 (カナダオンタリオ州) “RI 初の女性会長”

RI 会長テーマ: 「イマジン ロータリー」

上沢広光ガバナー地区標語: 「ロータリーはみんなを幸せにする」自分を含めてみんなが幸せになってほしいという願ひを込めている。

まずはロータリアンが幸せになることが大切で、それがロータリーの活性化につながる。

DEI の取り組みについて

多様性—あらゆる背景、文化、経験、アイデンティティを持つ人々が所属していること。

公平さ—全てのロータリー参加者を公平に扱うこと。

インクルージョン (包括性) —自分は歓迎され、



重んじられていると誰もが感じられるような体験を創出し、そのような環境を育むこと。

【重点項目への活動目標】

- ①青少年奉仕活動
- ②職業奉仕活動
- ③親睦
- ④各グループで合同の奉仕活動
- ⑤その他：デジタル化、オープン例会など

○幹事部会 向山賢悟次期幹事

本会議では上沢ガバナーエレクトから次年度地区方針「ロータリーはみんなを幸福にする」の説明があり、分科会では②次期幹事部会にて幹事の役割について研修を受けました。ロータリーの目的である「親睦と奉仕」の考えを理解したうえで、幹事の役割、仕事、理事会運営、クラブ例会等々の具体的な説明があった。また、コロナ禍におけるクラブ例会の開催状況について、各クラブの現状報告があった。完全なオンライン開催、リアルとオンラインのハイブリット開催、完全なリアル開催と対応は分かれているが、ハイブリット開催について前向きな検討が必要と感じた。



○会員増強部会 山崎秀亮次期 S. A. A

(1)クラブの未来を確保するために、新会員を迎え入れ、現会員の活発な参加を促す必要がある。会員が積極的に参加しているクラブは、斬新で充実した奉仕活動を積極的に実施している。当委員会は、地区内各クラブの会員増強と会員の積極的参加の促進を図るための目標と行動計画を収集し、これらの情報や知識を共有することにより、各クラブへの積極的な支援と協力をする。(2)上沢ガバナー年度の重要課題の一つである「クラブ戦略計画の立案」と今までの重点項目である「女性会員の増強」、「第2600地区目標2000名堅持」、各グループ純増10名」の達成を具体的な目標とする。また、グループ内における情報の共有と連帯感を高めるために、ガバナー補佐の支援と協力をお願いする。



今年度の計画・重点事業

- (1)各クラブの会員増強・維持活動計画書の作成依頼と状況分析
- (2)各クラブ会員増強担当者の全体会の開催
- (3)地区会員増強 Web セミナーの開催
- (4)グループ合同会員増強委員会の開催

行動することが成功への唯一の道である。

○公共イメージ向上部会

小河節郎次期情報・プログラム副委員長

ロータリーを知らない方が大勢いるので、奉仕活動を一般の方々に周知して、活動内容を理解していただくことが重要である。



①フェイスブック・ユーチューブを通じて認知度をあげる。

②継続的にケーブルを積極的に活用し、会報・友などを紹介するほかロータリーそのものを知っていただく。

③オープン例会を月に1回開催し、地域の皆さんに活動の内容を理解していただく。

④小中学生を対象に、出前講座を定期的に開催する。

○青少年奉仕部会

唐澤洋祐次期青少年奉仕委員長

「青少年奉仕でクラブ奉仕を活性化する」という重点項目。各地で青少年が参加する活動をする際には「青少年保護の指針」というものがあるので、これを遵守するよう周知が図られた。



①青少年交換小委員会

長期派遣5名、短期派遣1名をそれぞれの留学先へ派遣することが決定している。

②RYLA小委員会

RYLA研修セミナーが2023（令和5年）2月に駒ヶ根ロータリークラブで開催予定。

③インターアクト小委員会

今年度の新規事業であるIAC夏合宿がある他、クラブの活性化、交換留学へのインターアクト生の派遣、卒業後のロータリーアクトへの参加につなげられるような活動をする。

○ロータリー財団部会（小河幹事代読）

赤羽弘之次期国際奉仕・財団委員長

会員及びクラブに2022年-23年度の寄付目標

- (1)年次寄付を一人当たり150ドル以上
- (2)ポリオプラスを一人当たり30ドル以上
- (3)R平和センター一人当たり200円以上
- (4)恒久基金一クラブ1,000ドル以上
- (5)大口寄付の推進と獲得、メジャードナーのお願い

財団への寄付は、税制上の優遇措置が設けられており、所得税又は法人税の、所得控除か税額控除が受けられます。ご寄付を頂きますと、所属クラブ宛に確定申告書用の領収書が発行されます。公益性がとても高い寄付となります。

ロータリーカード(クレジット)の作成もご検討下さい。

○デジタル化推進部会

唐木 拓次期地区デジタル化推進委員会副委員長

来年度のデジタル化推進委員会の方針は、今年度に引き続き、デジタル化の推進を目標にしております。

コロナ禍でも例会を中止にせず開催できるようzoomなどの利用の整備を各クラブで検討することが課題とされています。

